



株主のみなさまへ
第49期 中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日

株式会社シャルレ 証券コード 9885



株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご支援、ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ49期第2四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）の報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の5類移行により社会経済活動が正常化となり、インバウンド需要に伴い景気回復の兆しが見られるようになった一方で、エネルギー価格の高騰による世界的な物価高など景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような中、現在推進しております中期経営計画（2022年4月～2027年3月期）では、2つの基本戦略を軸に、より踏み込んだ事業構造改革を段階的に行い、グループ企業として更なる成長を目指して積極的に取り組み、一定の成果に繋がっております。一方で、ポストコロナ社会における消費行動や生活様式の多様化、国際情勢の影響によるエネルギーや原材料価格の高騰などにより、当社グループを取り巻く事業環境が大きく変化しており、先行きが不確実な状況が続く中、中期経営計画策定時における前提との乖離が生じております。

また昨今のサステナビリティやデジタル化に向けた取り組みによる、現代社会や経済動向に与える影響や重要性を鑑み、2025年11月に創業50周年を迎える時期を好機と捉え、現在推進している中期経営計画をよりブラッシュアップいたします。

将来に向けたグループビジョンを明確にし、現行のグループ中期経営計画を見直し、新たなグループ中期経営計画として2024年5月ごろを目途に公表する予定にしております。

また、従業員の働き方改革推進強化の一環として、現在の本社ビル（神戸市須磨区）からシャルレポートアイランドビル（神戸市中央区）に本社機能に移転することといたしました。グループビジョンの実現に向けて、従業員のアイデア創出やイノベーション意識の醸成など、組織を風土改革する機会としていきます。また、施設維持管理コストの効率化も目的としており、従業員一人一人の業務効率や生産性向上の実現を目指します。新たな労働環境と新中期経営計画のもと持続可能な成長を果たすべく事業展開を推進してまいります。

今後も、株主のみなさまには、さらなるご支援とご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

基本理念

人はみな豊かでなければならない

我々に関係ある人はみな

どうしても豊かでなければならない



2023年11月
株式会社シャルレ
代表取締役社長
林 勝哉

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

単位:百万円

科 目	当第2四半期 連結会計期間 2023年9月30日	前連結会計年度 2023年3月31日
(資産の部)		
流動資産	14,901	15,025
固定資産	5,791	5,459
有形固定資産	2,202	2,262
無形固定資産	1,127	1,199
投資その他の資産	2,461	1,997
資産合計	20,692	20,485
(負債の部)		
流動負債	1,770	1,896
固定負債	769	782
負債合計	2,540	2,679
(純資産の部)		
株主資本	18,264	17,915
資本金	100	3,600
資本剰余金	8,398	4,897
利益剰余金	9,898	9,549
自己株式	△ 131	△ 131
その他の包括利益累計額	△ 112	△ 109
純資産合計	18,152	17,806
負債純資産合計	20,692	20,485

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

単位:百万円

科 目	当第2四半期 連結累計期間 2023年4月1日 ～2023年9月30日	前第2四半期 連結累計期間 2022年4月1日 ～2022年9月30日
売上高	6,836	6,443
売上原価	3,339	3,047
売上総利益	3,497	3,395
販売費及び一般管理費	3,023	3,154
営業利益	473	240
営業外収益	53	23
営業外費用	2	1
経常利益	524	263
特別利益	15	—
特別損失	—	792
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	540	△529
法人税、住民税及び事業税	18	15
法人税等調整額	45	34
四半期純利益又は四半期純損失(△)	475	△580
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	475	△580

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科 目	当第2四半期 連結累計期間 2023年4月1日 ～2023年9月30日	前第2四半期 連結累計期間 2022年4月1日 ～2022年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	903	△1,044
投資活動によるキャッシュ・フロー	△612	△352
財務活動によるキャッシュ・フロー	△153	△158
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	138	△1,555
現金及び現金同等物の期首残高	11,223	13,235
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,361	11,680

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億38百万円増加し、113億61百万円となりました。

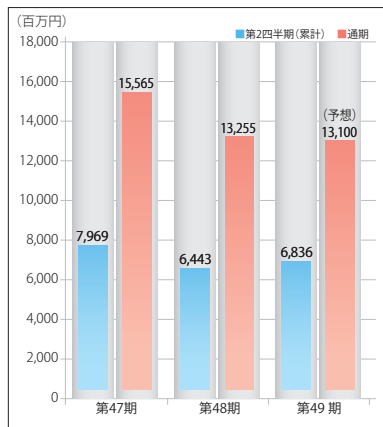
営業活動によるキャッシュ・フローは、9億3百万円の収入となりました(前年同四半期は10億44百万円の支出)。主な要因は、税金等調整前四半期純利益5億40百万円、減価償却費及びその他の償却費2億40百万円、賞与引当金の減少1億42百万円、仕入債務の増加1億35百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、6億12百万円の支出となりました(同3億52百万円の支出)。主な要因は、投資有価証券の取得による支出5億円、無形固定資産の取得による支出59百万円、有形固定資産の取得による支出45百万円であります。

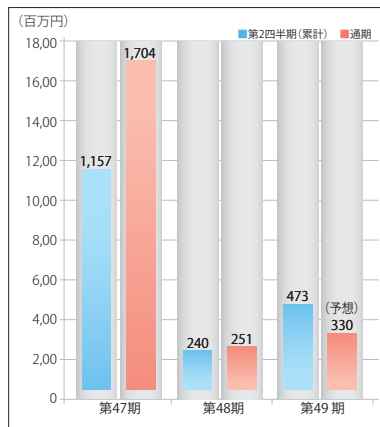
財務活動によるキャッシュ・フローは、1億53百万円の支出となりました(同1億58百万円の支出)。主な要因は、配当金の支払額1億26百万円であります。

連結財務ハイライト

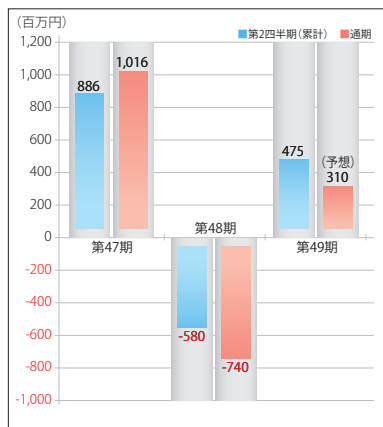
売上高



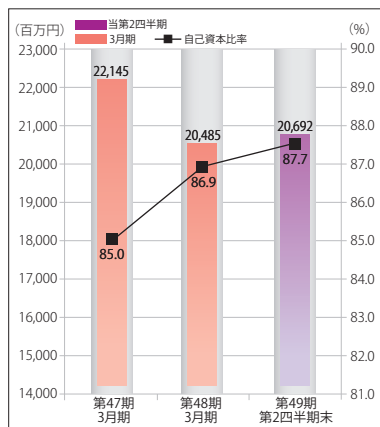
営業利益



親会社株主に帰属する 当期純利益又は 当期純損失



総資産・自己資本比率



決算ポイント

【売上高の状況】

レディースインナー等販売事業では、定番商品として当社独自の特許技術を用いた「シャルレミライ」シリーズ（ブラジャーやガードル等）を発売し、腰まわりをサポートする腰ケア商品「ライトなサポーター」が好調に推移いたしました。

また、6月に実施しました価格改定による駆け込み需要の影響もあり、第2四半期連結累計期間の売上高は好調に推移いたしました。

ウルトラファインバブル技術製品等製造販売事業では、依然として競争の激しい市場ではありますが、OEM製品の製造やホテルや美容室等の事業者に向けた新たな販路の拡大にも積極的に取り組みました。これらにより、連結売上高は68億36百万円（前年同四半期比6.1%増）となりました。

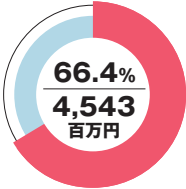
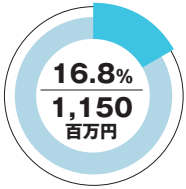
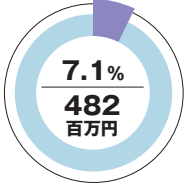
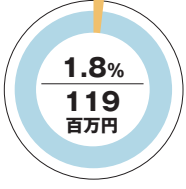
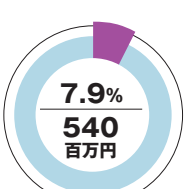
【営業利益の状況】

レディースインナー等販売事業では、粗利率の高い商品の売上減少により若干粗利率は低下したものの、ウルトラファインバブル技術製品等製造販売事業での、真鍮部品・金属切削加工事業を新設分割によってグループ外に株式を譲渡したことによる利益率の改善や、広告宣伝費及び販売促進費などの減少により、連結営業利益は4億73百万円（同96.4%増）となりました。

【親会社株主に帰属する四半期純利益】

親会社株主に帰属する四半期純利益は4億75百万円（前年同四半期はレディースインナー等販売事業での希望退職者の募集に伴う特別退職金を特別損失へ計上したため5億80百万円の四半期純損失）となりました。

業務報告（報告セグメント別売上高）

セグメント 売上構成比／売上高		売上高の推移（単位：百万円）		49期第2四半期 連結累計期間トピックス
レディースインナー等販売事業	衣料品類	 66.4% 4,543 百万円	2,000 3,000 4,000 5,000 6,000 7,000 8,000 9,000 第49期（2024年3月期） 第2四半期（累計） 第48期（2023年3月期） 第47期（2022年3月期） 第2四半期（累計） (4,543) 第2四半期（累計） (4,044) 第2四半期（累計） (4,242) 通期 (8,669) 通期 (8,808)	当社独自の特許技術を用いた「シャルレミ ライ」シリーズ（ファンデーションやガード ル等）を発売し、簡単に装着でき腰まわり を無理なくサポートする腰ケア商品「ライ トなサポーター」が高い商品評価により好 調に推移しました。また、9月発売の秋冬ア ウター商品（数量限定商品）も好調な販売 状況により、前第2四半期連結累計期間と 比較して増加しました。
	化粧品類	 16.8% 1,150 百万円	0 500 1,000 1,500 2,000 第49期（2024年3月期） 第2四半期（累計） 第48期（2023年3月期） 第47期（2022年3月期） 第2四半期（累計） (1,150) 第2四半期（累計） (1,024) 第2四半期（累計） (1,108) 通期 (1,906) 通期 (2,083)	高機能スキンケア商品（化粧水・美容 液・クリーム）をセットにした「エタリテ オーマージュプレミアム限定セット」が 好調に推移したことに加えて、定番商品 も前第2四半期連結累計期間と比較し て増加しました。
	健康食品類	 7.1% 482 百万円	0 200 400 600 800 1,000 第49期（2024年3月期） 第2四半期（累計） 第48期（2023年3月期） 第47期（2022年3月期） 第2四半期（累計） (482) 第2四半期（累計） (454) 第2四半期（累計） (475) 通期 (863) 通期 (967)	クエン酸を配合した希釈タイプの清涼飲 料水「黒こうじの恵み」を発売したことで、 前第2四半期連結累計期間と比較して 増加しました。
	その他	 1.8% 119 百万円	0 500 1,000 1,500 第49期（2024年3月期） 第2四半期（累計） 第48期（2023年3月期） 第47期（2022年3月期） 第2四半期（累計） (119) 第2四半期（累計） (241) 第2四半期（累計） (849) 通期 (527) 通期 (1,301)	第47期につきましては、子会社のシャワー ヘッドの発売初年度のため、売り上げは 大幅に増加しています。
	ウルトラファインバブル 技術製品等 製造販売事業	 7.9% 540 百万円	0 500 1,000 1,500 2,000 2,500 第49期（2024年3月期） 第2四半期（累計） 第48期（2023年3月期） 第47期（2022年3月期） 第2四半期（累計） (540) 第2四半期（累計） (677) 第2四半期（累計） (1,292) 通期 (1,287) 通期 (2,404)	OEM製品の製造や積極的に販路拡大に 向けた取り組みを行っておりますが、新規 参入事業者の増加や価格競争が市場内 で続いていることから、主力商品である シャワーヘッドの販売状況が低調な推移と なりました。
※セグメント間の取引については相殺消却しております。				

シャルレグループを代表する商品のご紹介

ファンデーション



好みに合わせて選ぶ
シリーズライン

ボディーデータの平均値から
パターンをつくる下着メーカー
が多いなか、シャルレはモニ
ターの声や着用感を重視。
新しい商品をつくるたびに、
新しいパターン(型紙)を作成
しています。

Devanna
by SHARLE

C series
by SHARLE

Faché
CHARLE SELFIA
by SHARLE
PALETTE

機能性アイテム



サボトレ®

スポーツブラジャー
スポーツショーツ

Charle Wellness
シャルレウェルネス

「着る+動く」で、元気な毎日

シャルレ独自の技術と確かな
理論に基づいて開発された
商品が、アクティブな毎日
を応援します。

化粧品



etterrite

etterrite
AURAMAGE

心はずむ美しさを
身体のすみずみまで

みずみずしい肌や、つややか
な髪は女性の美の象徴。美
しさの本質を追求したスキ
ンケア、ヘアケアのライン
ナップです。



etterrite
fredias



CHARAISE

健康食品



リンクアップ コラーゲン

ns

自然の恵みを、
科学のちからで摂りやすく

自然食材が持つ健康成分に
着目し、有用成分を効率よく
摂取できるようにした「ns」。
摂ってキレイをサポートす
る、新しい健康習慣。



びわの葉入り
まるごと発酵茶



エナジン
ウオマー

TKS/シャワーヘッド (当社グループ製品)

ポリーナ アヴァンティ

Bollina
Avanti

ウルトラファインバブルの先駆者がお届けする、さらに進化したシャワーヘッド

シャルレ商品を動画で紹介
シャルレチャンネル公式
YouTubeチャンネル



シャルレチャンネル

株主メモ・株式に関する手続きについて

株主メモ

決 算 期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催
基 準 日	定時株主総会については3月31日 利益配当金については3月31日 中間配当を行う場合は9月30日 その他必要があるときは、 あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先0120-094-777(通話料無料)
同 連 絡 先	
公 告 の 方 法	電子公告 公告掲載 URL https://www.charle.co.jp/company/outline/publicnotice.html (ただし、事故、その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載。)
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場
証 券 コ ー ド	9885

[ご注意]

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

『コーポレートガバナンス』の内容に関しましては、
以下よりご覧いただけます。

[URL]

<https://www.charle.co.jp/corporate/governance/>

[シャルレホームページ]

「シャルレホームページ」⇒「企業情報」⇒「コーポレートガバナンス」
を選択

株式に関する手続きについて

特別口座に口座をお持ちの株主様

お手続き・ご照会等の内容	
○特別口座から一般口座への 振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(※)	○郵送物等の発送と返戻に 関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に 関するご照会 ○株式事務に関する一般的な お問合せ
お問合せ先	
特別口座管理機関	株主名簿管理人
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先 0120-094-777(通話料無料)	
手続書類のご請求方法	
インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufg.jp/daikou/	

(※)特別口座に口座をお持ちの株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式は、お選びいただけません。

証券会社等に口座をお持ちの株主様

お手続き・ご照会の内容	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	○左記以外の お手続き、ご照会等
お問合せ先	
株主名簿管理人	
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先 0120-094-777(通話料無料)	口座を開設されている 証券会社等に お問合せください。



株式会社シャルレ
<https://www.charle.co.jp/>